



2017年3月

アイエスホーム通信

冬物から春物へ衣替えの時期

まだ寒い日もありますが、そろそろ冬物の上着など衣替えの時期ですね。毎年かさばる上着の収納に苦戦していませんか？今回はかさばる厚手の上着収納方法をご紹介します。

《ダウン》

真冬の必需品ともいえる、ダウンのジャケットやコート。圧縮袋に入れて小さく収納している方も多いのではないのでしょうか。

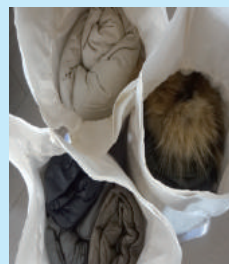
しかし、圧縮袋で収納すると、次のシーズンに着る時ダウンのポリウレム感が戻らないといった経験はありませんか？

そこで、ダウンの収納方法として、大きいサイズの不織布ギフト用の巾着バック活用をおススメします。



↑不織布のギフト用バック ※百円均一で売っている一番大きいサイズでOK

①前見ごろを内側にして袖をたたむ。②適当な大きさにたたみ丸める。



↑袋の中に丸めて入れるとスッキリ収まります。

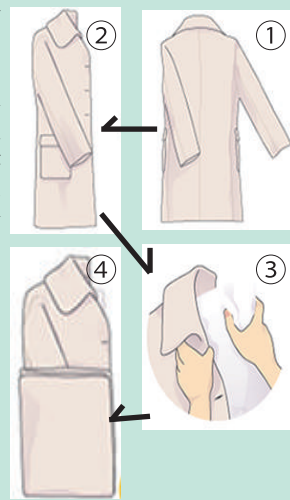
★このように袋に入れて口を縛れば、横向きに倒して押入やクローゼットの上部スペースにしまうことも可能になります。家族で袋を色分けすれば次のシーズン使う時に、誰の物なのか探さずに済みますね。



《ウール》

ハンガーに吊るして収納する方も多いと思いますが、冬の上着で使用されるウールは厚手のため繊維密度が荒く、シワになりやすいのです。そのため、たたんで引き出し収納が可能。吊るすスペースを空けたい方にオススメです。

★たたみ方のコツはタオルを使って形崩れを防ぐこと。



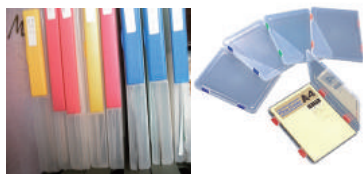
①ボタンを外し、後ろ身ごろを手前側にして置いたら、左袖を内側にたたみます。②右半分を前見ごろが見えるように半分にたたみます。

③形が崩れやすい肩の部分にハンドタオルを入れて形を整えます。④収納しやすい大きさにたたみます。

たたんだら、出来るだけ余裕をもって引き出しにしまいましょう。ぎゅぎゅに詰めてしまうと形崩れやシワになってしまいますので、ご注意を。

《マフラー・ストール》

マフラーやストールなどの巻物は、ボックスタイプのファイルケースに入れると縦でも横でも収納できるようになります。収納するものの厚さに合わせて、ファイルケースの厚みを選びましょう。



↑ケースに入れることでフリンジ等がからまることなくしまえます。

収納内部ユニット「リラクロ」

上段で上着の収納方法をご紹介したので、収納内部の商品ご紹介したいと思います。生活スタイルに合った棚板の組み合わせができる、ダイケンの内部ユニット「リラクロ」です。実際にリフォームの際、I型の収納に棚板を組み合わせて設置した実例をご紹介します。自由に組み合わせができるので、棚の間に洋服を吊るすスペースを確保することも可能です。



★I型だけでなく、L型やパントリータイプも対応可能です。



↑L型



←パントリータイプ

内部ユニットリラクロの商品特徴

←収納空間全体がひと目で見渡しやすいスリムな柱構造。

←ハンドルレスタイプの引き出しも設置可能。省スペースですっきりと納まります。

